

代表からのご挨拶

サンライズ・メイト・バート株式会社

代表取締役 井上 明美



いつも皆様方には格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。2025年11月に行われたWBC世界バンタム級王座決定戦、井上拓真氏と同級1位那須川天心氏との、同級王座決定戦に挑み、12回を戦い3-0で判定勝ち。無敗の格闘家でボクシングを含めて54戦全勝

だった那須川氏にキャリア初の黒星をつけました。24年10月、堤聖也氏に判定負けを喫し王座陥落して以来、約1年1ヵ月ぶりの再起戦で再び世界王者に返り咲いたのです。那須川氏のキックボクシングからの転向した勇気も素晴らしくお二人の勇姿に胸が熱くなります。新しい年が始まりました。寒さが続いておりますが、皆様もご自愛ください。

サンライズの物語

ある男性の最期の出来事

母の命日に起きた、忘れられないこと

その方は、以前結婚されていて子供さんが3人いたのですが離婚され一人で暮らされていた方でした。

近所の知人や友人達がその方を助けながら生活をしていたのですが、突然連絡が取れなくなり知人が訪問すると帰らぬ人となり発見されたのでした。

発見された時に一番下の娘さんにお会いすると、「今日は、父の母親の命日・・・きっと母親が見つけてくれたのですね。」と泣いておられました。

「父は自分の事しか考えていない人だったけれど、一番大好きだったお母さんが父を自分の元へ連れて行ったんですね。」とも話されていました。

一人で死んでいった父・・・最期になにを想っていたんでしょうか？との問いかけに掛ける言葉が見つかりませんでした。

偶然・・・必然だったのかも知れないお母様の命日に発見された事を思うと「死者の働き」という言葉を思い出しました。死者になってもなお働く人がいるのかも知れませんね。不思議な気持ちに囚われたのです。



サンライズのデイサービス陽光だより

カレンダー工作

水引や折り紙の鶴等で飾り付けて作りました。



お誕生日 皆さんでお誕生日の歌を歌って誕生日カードをプレゼントさせて頂きました。

NEWS 今月のニュース

宇部の介護施設で「ふれあいカフェ」 認知症がテーマの交流イベント開催へ

認知症をテーマにした交流イベント「ふれあいカフェ」が12月11日、宇部の介護総合支援拠点「きわなみケアファミリー」の「住宅型有料老人ホーム グラディアスキわなみ」（宇部市際波、TEL 0836-39-3303）で開催される。

（山口宇部経済新聞）宇部市が、市内の病院や介護施設、民間の交流スペースを活用して行う「認知症・認知症予防カフェ」の一環。

同施設では年3回のペースで実施しており、4月と7月には20人以上が参加した。専務取締役の奥西直子さんは「60代から90代の

高齢者、支える家族、認知症に関心のある地域の人、介護福祉士や看護師など幅広い人々が交流した」と話す。

同イベントは、認知症に関する正しい知識や情報を共有し、日々の思いを打ち明けられる場を提供することが目的で、認知症の人が住み慣れた地域で自分らしく暮らしていくための一助となることを目指している。

当日は、きわなみ居宅介護支援センター管理者の重富友和さんが「10月からの介護保険申請」について講話を行う。また、ケアマネジャー、社会福祉士、介護福祉士、看護師が認知症に関する個別相談に応じる。

交流を深めるためのプログラムも充実し、お茶やコーヒーなどを楽しみながら交流する「カフェタイム」、季節の歌を歌う「うたタイム」、ミニクリスマス

スリースを作る「制作タイム」なども設ける。奥西さんは「認知症は誰にでも起こる可能性がある。

当たり前のことが段々できなくなってしまうのを目の当たりにすると、大きな戸惑いを感じてしまうが、そうした思いを打ち明けてもらったり、情報共有をしてもらいたい」と参加を呼びかける。



ふれあいカフェの様子

<みんなの経済新聞
2025年12月4日>

広報誌「ライジング・サン」のバックナンバーは、弊社ホームページでもご覧いただけます。

ぜひお立ち寄り下さいませ。 <http://www.samaba.jp/back-number/>